

夏川に暮れ残る人動きけり

足もとに風の動きし残暑ざんしょかな

こおろぎの鳴かぬ国より帰りけり

風花かざばなや無言の人の頬ほおかむり

風少し出てきた除夜じよやの雨戸引く

ああ秋ぞ幼きころの百舌もずの声

